

(令和 6 年 10 月 31 日 改訂)

(令和 4 年 8 月 31 日 改訂)

(令和 2 年 10 月 1 日 改訂)

(令和元年 5 月 29 日 改訂)

(平成 30 年 1 月 17 日 改訂)

平成 27 年 9 月 16 日

気象庁

「警報級の可能性（明日まで）」「早期注意情報（明後日まで）」の解説

○「早期注意情報（明後日まで）」運用開始に伴う、本情報の運用変更について

本情報については情報名称を「早期注意情報（警報級の可能性）（明後日まで）」に変更する。一方、従前の「警報級の可能性（明後日以降）」電文（名称「早期注意情報（警報級の可能性）（明後日以降）」）については、名称を変更するものの形式等の変更は行わない。このため、新しい「早期注意情報（明後日まで）」電文を利用する場合、「警報級の可能性（明後日以降）」電文の明後日の予報部分については利用せず、明々後日以降の部分を利用すること。一方、従前の経過措置電文「警報級の可能性（明日まで）」を継続利用する場合は、「警報級の可能性（明後日以降）」電文の明後日部分をこれまでどおり利用すること。

1 全体構成

Report

- └ Control 管理部
- └ Head ヘッダ部
- └ Body 内容部

2 各部の構成と内容

(1) 管理部

① 管理部（Control）の構成と内容

タグ	内容	解説
Control		
└Title	情報名称	電文の種別を示すための情報名称を示す。種別に応じて“早期注意情報（明後日まで）”又は“警報級の可能性（明日まで）”で固定。
└DateTime	発表時刻	発表時刻。未来時刻にはならない。 “2008-06-26T01:51:00Z”のように協定世界時で記述する。
└Status	運用種別	本情報の位置づけ。“通常”“訓練”“試験”のいずれかを記載。“訓練”“試験”は正規の情報として利用してはならないことを示す。
└EditorialOffice	編集官署名	実際に発表作業を行った「編集官署名」を示す。“気象庁本庁”“大阪管区气象台”のように記述する。
└PublishingOffice	発表官署名	本情報を業務的に発表した「発表官署名」を示す。“気象庁”“大阪管区气象台”のように記述する。

(2) ヘッダ部

① ヘッダ部（Head）の構成と内容

タグ	内容	解説
Head		
└Title	標題	情報を示す標題。具体的な内容が判別できる名称であり、可視化を目的として利用する。種別に応じて“〇〇早期注意情報（明後日まで）”又は“〇〇警報級の可能性（明日まで）”（〇〇は府県予報区名）と記述する。
└ReportDateTime	発表時刻	本情報の公式な発表時刻を示す。“2008-06-26T11:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└TargetDateTime	基点時刻	本情報の対象となる時刻・時間帯の基点時刻を示す。“2008-06-28T06:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└TargetDuration	基点時刻からの取りうる時間	本情報の対象が時間幅を持つ場合、TargetDateTime を基点とした時間の幅を示す。
└EventID	識別情報	本情報では値は記述しない。
└InfoType	情報形態	本情報の形態を示す。“発表”“訂正”“遅延”のいずれかを記述する。
└Serial	情報番号	本情報では値は記述しない。
└InfoKind	スキーマの運用種別情報	同一スキーマ上における情報分類に応じた運用を示す種別情報である。“警報級の可能性（明日まで）”と記述する。
└InfoKindVersion	スキーマの運用種別情報のバージョン	スキーマの運用種別情報におけるバージョン番号を示す。 “早期注意情報（明後日まで）”は“1.5_0”、 “警報級の可能性（明日まで）”は“1.2_0”とする。
└Headline	見出し要素	防災気象情報事項となる見出し要素を示す。本情報では何も記述しない。
└Text	見出し文	本情報では値は記述しない。

(3) 内容部

① 内容部（Body）の構成と内容

タグ	内容	解説
Body		
└MeteorologicalInfos	予報の項目	予報の項目を属性 type で指定する。属性 type は“区域予報”の値をとる。
└└MeteorologicalInfo	予報事項	MeteorologicalInfos の属性 type で指定した予報の項目を記述する。
└└└TimeSeriesInfo	時系列情報	MeteorologicalInfos の属性 type で指定した予報の項目を時系列情報として記述する。

②内容部の個別要素の詳細

※1 24時間最大雨量、24時間最大降雪量の詳細

タグ	内容	解説
MeteorologicalInfo	予報事項	“早期注意情報（明後日まで）”では要素ごと省略する。“警報級の可能性（明日まで）”では互換性のため構造を継続するが、値の提供は終了する。
└ DateTime	基点時間	予報期間の始めの時刻を示す。“2008-01-10T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└ Duration	対象期間	予報期間の長さを示す。“P1D”などと記述する。
└ Name	予報時間の内容	予報の対象時間幅や対象日について、“21日”のように文字列で記述する。
└ Item	予報の内容	24時間最大雨量、24時間最大降雪量と予報区を記述する。府県予報区に含まれる発表予報区の数だけ繰り返す。 ※1-1「24時間最大雨量、24時間最大降雪量」の詳細を参照

※1-1「24時間最大雨量、24時間最大降雪量の予想、警報級の可能性」の詳細

タグ	内容	解説
Item	予報の内容	
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する
└ Property	予報要素	予報要素を記述する
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Typeの値は“24時間最大雨量”。
└ DetailForecast	詳細な予報	詳細な予報を記述する
└ PrecipitationForecastPart	24時間最大雨量	24時間最大雨量を記述する。 ※1-1-1「24時間最大雨量」の詳細を参照。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する
└ Property	予報要素	予報要素を記述する
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Typeの値は“24時間最大降雪量”。
└ DetailForecast	詳細な予報	詳細な予報を記述する

└SnowfallDepthForecastPart	24時間最大降雪量	24時間最大降雪量を記述する。 ※1-1-2 「24時間最大降雪量」の詳細を参照。
└Area	対象地域	発表予報区を記述する。
└Name	対象地域の名称	発表予報区の名称を、“東京地方”“大阪府”などと記述する。
└Code	対象地域のコード	発表予報区のコード番号を、“130010” “270000”などと記述する。

※1-1-1 「24時間最大雨量」の詳細

例	解説
<pre><PrecipitationForecastPart> <Sentence></Sentence> <Base> <jmx_eb:Precipitation type="24時間最大雨量" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:Precipitation> </Base> </PrecipitationForecastPart></pre>	<p>対象地域全域の場合。 / Sentence には対象地域の24時間最大雨量の文字列表現を記載する。</p> <p>type は“24時間最大雨量”の固定。 unit は“mm”の固定。 description には雨量の文字列表現を記載する。 ※実際には、description と condition には“値なし”の固定とし、雨量値は記述しない。以下同じ。</p>

例	解説
<pre><PrecipitationForecastPart> <Sentence></Sentence> <Base> <jmx_eb:Precipitation type="24時間最大雨量（範囲の下端）" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:Precipitation></pre>	<p>対象地域の一部を、分割して、記載する場合。</p> <p>範囲は、type を“24時間最大雨量（範囲の下</p>

<pre> <jmx_eb:Precipitation type=" 2 4 時間最大雨量（範囲の上端）" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:Precipitation> </Base> <SubArea> <AreaName>多摩西部</AreaName> <Base> <jmx_eb:Precipitation type=" 2 4 時間最大雨量（範囲の下端）" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:Precipitation> <jmx_eb:Precipitation type=" 2 4 時間最大雨量（範囲の上端）" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:Precipitation> </Base> </SubArea> </PrecipitationForecastPart> </pre>	<p>端) ”、“2 4 時間最大雨量（範囲の上端）”として示す。</p> <p>分割した地域は、/ SubArea で記載する。</p>
---	---

例	解説
<pre> <PrecipitationForecastPart> <Base> <Sentence></Sentence> <Local> <AreaName>平地</AreaName> <jmx_eb:Precipitation type=" 2 4 時間最大雨量（範囲の下端）" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:Precipitation> <jmx_eb:Precipitation type=" 2 4 時間最大雨量（範囲の上端）" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:Precipitation> </Local> <Local> <AreaName>山間部</AreaName> <jmx_eb:Precipitation type=" 2 4 時間最大雨量（範囲の下端）" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:Precipitation> <jmx_eb:Precipitation type=" 2 4 時間最大雨量（範囲の上端）" unit="mm" description="値なし" </pre>	<p>対象領域を、平地・山地などで細分した場合</p> <p>平地、山地などは、/ Local で記載する。</p>

<pre>condition="値なし"></jmx_eb:Precipitation> </Local> </Base> </PrecipitationForecastPart></pre>	
---	--

例	解説
<pre><jmx_eb:Precipitation type="24時間最大雨量" unit="mm" condition="以上" description="〇〇ミリ以上">〇〇</jmx_eb:Precipitation></pre>	ある値以上と表現する場合は、conditionに“以上”と記載する。

例	解説
<pre><jmx_eb:Precipitation type="24時間最大雨量" unit="mm" condition="以下" description="××ミリ以下">××</jmx_eb:Precipitation></pre>	ある値以下と表現する場合は、conditionに“以下”と記載する。

※1-1-2 「24時間最大降雪量」の詳細

例	解説
<pre><SnowfallDepthForecastPart> <Sentence></Sentence> <Base> <jmx_eb:SnowfallDepth type="24時間最大降雪量" unit="cm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:SnowfallDepth> </Base> </SnowfallDepthForecastPart></pre>	<p>対象地域全域の場合。</p> <p>/ Sentence には対象地域の24時間最大降雪量の文字列表現を記載する。</p> <p>type は“24時間最大降雪量”の固定。 unit は“cm”の固定。 description には降雪量の文字列表現を記載する。</p>

	※実際には、description と condition には“値なし”の固定とし、降雪量値は記述しない。以下同じ。
--	---

例	解説
<pre> <SnowfallDepthForecastPart> <Sentence></Sentence> <Base> <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4 時間最大降雪量（範囲の下端）" unit="cm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:SnowfallDepth> <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4 時間最大降雪量（範囲の上端）" unit="cm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:SnowfallDepth> </Base> <SubArea> <AreaName>多摩西部</AreaName> <Base> <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4 時間最大降雪量（範囲の下端）" unit="cm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:SnowfallDepth> <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4 時間最大降雪量（範囲の上端）" unit="cm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:SnowfallDepth> </Base> </SubArea> </SnowfallDepthForecastPart> </pre>	<p>対象地域の一部を、分割して、記載する場合。</p> <p>範囲は、type を“2 4 時間最大降雪量（範囲の下端）”、“2 4 時間最大降雪量（範囲の上端）”として示す。</p> <p>分割した地域は、/ SubArea で記載する。</p>

例	解説
<pre> <SnowfallDepthForecastPart> <Sentence></Sentence> <Base> <Local> </pre>	<p>対象領域を、平野部・山岳部などで細分した場合</p> <p>平野部、山岳部などは、/</p>

<AreaName>平野部</AreaName> <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4 時間最大降雪量（範囲の下端）" unit="cm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:SnowfallDepth> <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4 時間最大降雪量（範囲の上端）" unit="cm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:SnowfallDepth> </Local> <Local> <AreaName>山岳部</AreaName> <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4 時間最大降雪量（範囲の下端）" unit="cm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:SnowfallDepth> <jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4 時間最大降雪量（範囲の上端）" unit="cm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:SnowfallDepth> </Local> </Base> </SnowfallDepthForecastPart>	Local で記載する。
--	--------------

例	解説
<jmx_eb:SnowfallDepth type="2 4 時間最大降雪量" unit="cm" condition="以上" description="〇〇センチ以上">〇〇</jmx_eb:SnowfallDepth>	ある値以上と表現する場合は、conditionに“以上”と記載する。

※2 「1時間最大雨量、3時間最大雨量、6時間最大降雪量、最大風速、波高の最大の予想」の詳細

タグ	内容	解説
TimeSeriesInfo	時系列情報	“早期注意情報（明後日まで）”では要素ごと省略する。“警報級の可能性（明日まで）”では互換性のため構造を継続するが、値の提供は終了する。
└TimeDefines	時系列の時刻定義セット	予報の対象期間を示すとともに、対応する要素の timeId を記述する。
└ TimeDefine	個々の時刻定義	同一 TimeSeriesInfo 内にある要素の ID(refID)に対応する ID(timeId)を記述する。
└ DateTime	基点時刻	予報期間の始めの時刻を示す。“2008-01-10T06:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└ Duration	対象期間	予報期間の長さを示す。“PT6H”, “PT12H”, “PT18H”, “PT1D”のように記述する。
└ Name	予報時間の内容	予報の対象時間幅や対象日について、“2 1 日 0 6 時から 1 2 時”、“2 2 日 0 0 時から 0 6 時”のように記述する。
└ Item		1 時間最大雨量、3 時間最大雨量、6 時間最大降雪量、最大風速、波高の最大予報と、予報区を記述する。府県予報区に含まれる発表予報区の数だけ繰り返す。 ※2－1「1 時間最大雨量、3 時間最大雨量、6 時間最大降雪量、最大風速、波高の最大の予想」の詳細を参照

※ 2－1 「1時間最大雨量、3時間最大雨量、6時間最大降雪量、最大風速、波高の最大の予想」の詳細

タグ	内容	解説
Item	予報の内容	
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“1時間最大雨量”。
└ DetailForecast	詳細な予報	詳細な予報を記述する。
└ PrecipitationForecastPart	1時間最大雨量	1時間最大雨量を記述する。 ※ 2－1－1 「1時間最大雨量」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“3時間最大雨量”。
└ DetailForecast	詳細な予報	詳細な予報を記述する。
└ PrecipitationForecastPart	3時間最大雨量	3時間最大雨量を記述する。 ※ 2－1－2 「3時間最大雨量」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“6時間最大降雪量”。
└ DetailForecast	詳細な予報	詳細な予報を記述する。
└ SnowfallDepthForecastPart	6時間最大降雪量	6時間最大降雪量を記述する。 ※ 2－1－3 「6時間最大降雪量」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“最大風速”。
└ DetailForecast	詳細な予報	詳細な予報を記述する。
└ WindForecastPart	最大風速	最大風速を記述する。

		※2-1-4 「最大風速」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“波”。
└ DetailForecast	詳細な予報	詳細な予報を記述する。
└ WaveHeightForecastPart	波高の最大	波高の最大を記述する。発表予報区で波浪警報等の運用を行っていない場合は、Kind 以下を省略する。 ※2-1-5 「波高の最大」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Area	対象地域	発表予報区を記述する。
└ Name	対象地域の名称	発表予報区の名称を、“東京地方”“大阪府”などと記述する。
└ Code	対象地域のコード	発表予報区のコード番号を、“130010” “270000”などと記述する。

※2-1-1 「1時間最大雨量」の詳細

例	解説
<pre><PrecipitationForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence> <Base> <jmx_eb:Precipitation type="1時間最大雨量" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"/> </Base> </PrecipitationForecastPart></pre>	<p>対象地域全域の場合。 / Sentence には対象地域の1時間最大雨量の文字列表現を記載する。</p> <p>type は“1時間最大雨量”の固定。 unit は“mm”の固定。 description には雨量の文字列表現を記載する。 ※実際には、description と condition には“値なし”の固定とし、雨量値は記述しない。以下同じ。</p>

例	解説
<pre> <PrecipitationForecastPart refID="1"> <Sentence/> <Base> <jmx_eb:Precipitation type="1 時間最大雨量" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"/> </Base> <SubArea> <AreaName>多摩西部</AreaName> <Base> <jmx_eb:Precipitation type="1 時間最大雨量" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"/> </Base> </SubArea> </PrecipitationForecastPart> </pre>	<p>対象地域の一部を、分割して、記載する場合。</p> <p>分割した地域は、/SubArea で記載する。</p>

例	解説
<pre> <PrecipitationForecastPart refID="1"> <Sentence>平地 30 ミリ 山間部では 50 ミリ</Sentence> <Base> <Local> <AreaName>平地</AreaName> <jmx_eb:Precipitation type="1 時間最大雨量" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"/> </Local> <Local> <AreaName>山間部</AreaName> <jmx_eb:Precipitation type="1 時間最大雨量" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"/> </Local> </Base> </PrecipitationForecastPart> </pre>	<p>対象領域を、平地・山地などで細分した場合</p> <p>平地、山地などは、/Local で記載する。</p>

例	解説
<pre><jmx_eb:Precipitation type="1時間最大雨量" unit="mm" condition="以上" description="〇〇ミリ以上">〇〇</jmx_eb:Precipitation></pre>	ある値以上と表現する場合は、conditionに“以上”と記載する。

例	解説
<pre><jmx_eb:Precipitation type="1時間最大雨量" unit="mm" condition="以下" description="××ミリ以下">××</jmx_eb:Precipitation></pre>	ある値以下と表現する場合は、conditionに“以下”と記載する。

※ 2 - 1 - 2 「3時間最大雨量」の詳細

例	解説
<pre><PrecipitationForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence> <Base> <jmx_eb:Precipitation type="3時間最大雨量" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:Precipitation> </Base> </PrecipitationForecastPart></pre>	<p>対象地域全域の場合。 / Sentence には対象地域の3時間最大雨量の文字列表現を記載する。</p> <p>type は“3時間最大雨量”の固定。 unit は“mm”の固定。 description には雨量の文字列表現を記載する。 ※実際には、description と condition には“値なし”の固定とし、雨量値は記述しない。以下同じ。</p>

例	解説
<pre><PrecipitationForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence></pre>	対象地域の一部を、分割して、記載する場合。

<pre> <Base> <jmx_eb:Precipitation type="3時間最大雨量" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"/> </Base> <SubArea> <AreaName>多摩西部</AreaName> <Base> <jmx_eb:Precipitation type="3時間最大雨量" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"/> </Base> </SubArea> </PrecipitationForecastPart> </pre>	<p>分割した地域は、/ SubArea で記載する。</p>
--	-------------------------------------

例	解説
<pre> <PrecipitationForecastPart refID="1"> <Sentence/> <Base> <Local> <AreaName>平地</AreaName> <jmx_eb:Precipitation type="3時間最大雨量" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"/> </Local> <Local> <AreaName>山間部</AreaName> <jmx_eb:Precipitation type="3時間最大雨量" unit="mm" description="値なし" condition="値なし"/> </Local> </Base> </PrecipitationForecastPart> </pre>	<p>対象領域を、平地・山地などで細分した場合</p> <p>平地、山地などは、/ Local で記載する。</p>
例	解説
<pre> <jmx_eb:Precipitation type="3時間最大雨量" unit="mm" condition="以上" description="〇〇ミリ以上">〇〇</jmx_eb:Precipitation> </pre>	<p>ある値以上と表現する場合は、conditionに“以上”と記載する。</p>

例	解説
<pre><jmx_eb:Precipitation type="3時間最大雨量" unit="mm" condition="以下" description="××ミリ以下" ">××</jmx_eb:Precipitation></pre>	ある値以下と表現する場合は、conditionに“以下”と記載する。

※2-1-3 「6時間最大降雪量」の詳細

例	解説
<pre><SnowfallDepthForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence> <Base> <jmx_eb:SnowfallDepth type="6時間最大降雪量" unit="cm" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:SnowfallDepth> </Base> </SnowfallDepthForecastPart></pre>	<p>対象地域全域の場合。 / Sentence には対象地域の6時間最大降雪量の文字列表現を記載する。</p> <p>type は“6時間最大降雪量”の固定。 unit は“cm”の固定。 description には降雪量の文字列表現を記載する。 ※実際には、description と condition には“値なし”の固定とし、降雪量値は記述しない。以下同じ。</p>

例	解説
<pre><SnowfallDepthForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence> <Base> <jmx_eb:SnowfallDepth type="6時間最大降雪量" unit="cm" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:SnowfallDepth> </Base></pre>	<p>対象地域の一部を、分割して、記載する場合。</p> <p>分割した地域は、/</p>

<SubArea> <AreaName>多摩西部</AreaName> <Base> <jmx_eb:SnowfallDepth type="6 時間最大降雪量" unit="cm" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:SnowfallDepth> </Base> </SubArea> </SnowfallDepthForecastPart>	SubArea で記載する。
--	----------------

例	解説
<SnowfallDepthForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence> <Base> <Local> <AreaName>平野部</AreaName> <jmx_eb:SnowfallDepth type="6 時間最大降雪量" unit="cm" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:SnowfallDepth> </Local> <Local> <AreaName>山岳部</AreaName> <jmx_eb:SnowfallDepth type="6 時間最大降雪量" unit="cm" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:SnowfallDepth> </Local> </Base> </SnowfallDepthForecastPart>	対象領域を、平野部・山岳部などで細分した場合 平野部、山岳部などは、/Local で記載する。

例	解説
<jmx_eb:SnowfallDepth type="6 時間最大降雪量" unit="cm" condition="以上" description="〇〇センチ以上">〇〇</jmx_eb:SnowfallDepth>	ある値以上と表現する場合は、condition に“以上”と記載する。

※ 2 - 1 - 4 「最大風速」の詳細

例	解説
<pre> <WindForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence> <Base> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WindSpeed> </Base> </WindForecastPart> </pre>	<p>対象地域全域の場合。 / Sentence には対象地域の最大風速の文字列表現を記載する。</p> <p>type は“最大風速”の固定。 unit は“m/s”の固定。 description には最大風速の文字列表現を記載する。</p> <p>※実際には、description と condition には“値なし”の固定とし、風速値は記述しない。以下同じ。</p>

例	解説
<pre> <WindForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence> <Base> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WindSpeed> </Base> <SubArea> <AreaName>2 3 区東部</AreaName> <Base> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WindSpeed> </pre>	<p>対象地域の一部を、分割して、記載する場合。</p> <p>分割した地域は、/ SubArea で記載する。</p>

</Base> </SubArea> </WindForecastPart>	
--	--

例	解説
<pre> <WindForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence> <Base> <Local> <AreaName>陸上</AreaName> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WindSpeed> </Local> <Local> <AreaName>海上</AreaName> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WindSpeed> </Local> </Base> </WindForecastPart> </pre>	<p>対象領域を、陸上・海上などで細分した場合</p> <p>陸上、海上などは、/Local で記載する。</p>

例	解説
<pre> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速（範囲の下端）" unit="m/s" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WindSpeed> <jmx_eb:WindSpeed type="最大風速（範囲の上端）" unit="m/s" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WindSpeed> </pre>	<p>範囲は、type を“最大風速（範囲の下端）”、“最大風速（範囲の上端）”として示す。</p>

例	解説
<pre><jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" condition="以上" description="〇〇メートル以上">〇 〇</jmx_eb:WindSpeed></pre>	ある値以上と表現する場合は、conditionに“以上”と記載する。

例	解説
<pre><jmx_eb:WindSpeed type="最大風速" unit="m/s" condition="以下" description="××メートル以下">× ×</jmx_eb:WindSpeed></pre>	ある値以下と表現する場合は、conditionに“以下”と記載する。

※ 2 - 1 - 5 「波高の最大」の詳細

例	解説
<pre><WaveHeightForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WaveHeight> </Base> </WaveHeightForecastPart></pre>	<p>対象地域全域の場合。 / Sentenceには対象地域の波高の最大の文字列表現を記載する。</p> <p>typeは“波高”の固定。 unitは“m”の固定。 descriptionには波高の最大の文字列表現を記載する。</p> <p>※実際には、descriptionとconditionには“値なし”の固定とし、波高値は記述しない。以下同じ。</p>

例	解説
<pre><WaveHeightForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence></pre>	対象地域の一部を、分割して、記載する場合。

<pre> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WaveHeight> </Base> <SubArea> <AreaName>三宅島</AreaName> <Base> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WaveHeight> </Base> </SubArea> </WaveHeightForecastPart> </pre>	<p>分割した地域は、/ SubArea で記載する。</p>
--	-------------------------------------

例	解説
<pre> <WaveHeightForecastPart refID="1"> <Sentence></Sentence> <Base> <Local> <AreaName>玄界灘</AreaName> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WaveHeight> </Local> <Local> <AreaName>沖ノ島周辺</AreaName> <jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" description="値なし" condition="値なし" "></jmx_eb:WaveHeight> </Local> </Base> </WaveHeightForecastPart> </pre>	<p>対象領域を、複数の海域 で細分した場合</p> <p>各海域は、/ Local で記載 する。</p>

例	解説
<pre><jmx_eb:WaveHeight type="波高（範囲の下端）" unit="m" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:WaveHeight> <jmx_eb:WaveHeight type="波高（範囲の上端）" unit="m" description="値なし" condition="値なし"></jmx_eb:WaveHeight></pre>	範囲は、type を“波高（範囲の下端）”、“波高（範囲の上端）”として示す。

例	解説
<pre><jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" condition="以上" description="〇〇メートル以上">〇〇</jmx_eb:WaveHeight></pre>	ある値以上と表現する場合は、condition に“以上”と記載する。

例	解説
<pre><jmx_eb:WaveHeight type="波高" unit="m" condition="以下" description="××メートル以下">××</jmx_eb:WaveHeight></pre>	ある値以下と表現する場合は、condition に“以下”と記載する。

例	解説
<pre><jmx_eb:WaveHeight type="波高" condition="予報無し" description="流水におおわれている"/></pre>	流水に覆われ、波浪予報が出来ない場合は、condition に“予報無し”と記載する。

※3 「警報級の可能性の予想」の詳細

タグ	内容	解説
TimeSeriesInfo	時系列情報	“早期注意情報（明後日まで）”と“警報級の可能性（明日まで）”の両方で記述するが、時刻定義セット（TimeDefines）と予報要素（Property）が両方で異なる。
└TimeDefines	時系列の時刻定義セット	予報の対象期間を示すとともに、対応する要素の timeId を記述する。
└ TimeDefine	個々の時刻定義	同一 TimeSeriesInfo 内にある要素の ID(refID)に対応する ID(timeId)を記述する。予報対象数と同数を繰り返して記述する。時刻定義の具体的時間は別表1のとおり。
└ DateTime	基点時刻	予報期間の始めの時刻を示す。“2008-01-10T00:00:00+09:00”のように日本標準時で記述する。
└ Duration	対象期間	予報期間の長さを示す。“PT6H”, “PT12H”, “PT18H”, “PT1D”のように記述する。
└ Name	予報時間の内容	予報の対象時間幅や対象期間について、“21日昼過ぎから夕方”のように文字列で記述する。
└ Item		警報級の可能性の予報と、予報区を記述する。府県予報区に含まれる発表予報区の数だけ繰り返す。 ※3－1「警報級の可能性」の詳細を参照

※ 3－1 「警報級の可能性」の詳細

タグ	内容	解説
Item	予報の内容	“早期注意情報（明後日まで）”では大雨、土砂災害、雪、風（風雪）、波、潮位の警報級の可能性、“警報級の可能性（明日まで）”では雨、雪、風（風雪）、波、潮位の警報級の可能性を予報対象とする。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。“警報級の可能性（明日まで）”のみ記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“雨の警報級の可能性”。 雨の警報級の可能性は、大雨の警報級の可能性と土砂災害の警報級の可能性を併せたものとなる。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「雨の警報級の可能性」の階級値（※ 3－1－6）を記述する。 ※ 3－1－1 「雨の警報級の可能性」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Text		雨、大雨、土砂災害、雪、風（風雪）、波若しくは潮位の警報級の可能性が [高]、[中] のとき又は condition が“値なし”のとき、警報級の可能性及び対象期間の概要を文字列で記述する。記述する内容が無い場合には、タグ自体出現しない。同一発表予報区内では、Type の値にかかわらず同じとなる。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。“早期注意情報（明後日まで）”のみ記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“大雨の警報級の可能性”。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「大雨の警報級の可能性」の階級値（※ 3－1－6）を記述する。 ※ 3－1－2 「大雨の警報級の可能性」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Text		雨、大雨、土砂災害、雪、風（風雪）、波若しくは潮位の警報級の可能性が [高]、[中] のとき又は condition が“値なし”のとき、警報級の可能性及び対象期間の概要を文字列で記述する。記述する内容が無い場合には、タグ自体出現しない。同一発表予報区内では、Type の値にかかわらず同じとなる。

└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。“早期注意情報（明後日まで）”のみ記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“土砂災害の警報級の可能性”。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「土砂災害の警報級の可能性」の階級値（※3-1-6）を記述する。 ※3-1-3 「土砂災害の警報級の可能性」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Text		雨、大雨、土砂災害、雪、風（風雪）、波若しくは潮位の警報級の可能性が[高]、[中] のとき又は condition が“値なし” のとき、警報級の可能性及び対象期間の概要を文字列で記述する。記述する内容が無い場合には、タグ自体出現しない。同一発表予報区内では、Type の値にかかわらず同じとなる。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“雪の警報級の可能性”。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「雪の警報級の可能性」の階級値（※3-1-6）を記述する。 ※3-1-4 「雪の警報級の可能性」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Text		雨、大雨、土砂災害、雪、風（風雪）、波若しくは潮位の警報級の可能性が[高]、[中] のとき又は condition が“値なし” のとき、警報級の可能性及び対象期間の概要を文字列で記述する。記述する内容が無い場合には、タグ自体出現しない。同一発表予報区内では、Type の値にかかわらず同じとなる。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“風（風雪）の警報級の可能性”。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「風（風雪）の警報級の可能性」の階級値（※3-1-6）を記述する。

		※3-1-5 「風（風雪）の警報級の可能性」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Text		雨、大雨、土砂災害、雪、風（風雪）、波若しくは潮位の警報級の可能性が [高]、[中] のとき又は condition が“値なし” のとき、警報級の可能性及び対象期間の概要を文字列で記述する。記述する内容が無い場合には、タグ自体出現しない。同一発表予報区内では、Type の値にかかわらず同じとなる。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“波の警報級の可能性”。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「波の警報級の可能性」の階級値（※3-1-6）を記述する。発表予報区で波浪警報等の運用を行っていない場合は、Kind 以下を省略する。 ※3-1-6 「波の警報級の可能性」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Text		雨、大雨、土砂災害、雪、風（風雪）、波若しくは潮位の警報級の可能性が [高]、[中] のとき又は condition が“値なし” のとき、警報級の可能性及び対象期間の概要を文字列で記述する。記述する内容が無い場合には、タグ自体出現しない。同一発表予報区内では、Type の値にかかわらず同じとなる。
└ Kind	個々の予報の内容	予報を記述する。
└ Property	予報要素	予報要素を記述する。
└ Type	気象要素名	気象要素名を記述する。Type の値は“潮位の警報級の可能性”。
└ PossibilityRankOfWarningPart	警報級の可能性	「潮位の警報級の可能性」の階級値（※3-1-6）を記述する。発表予報区で高潮警報等の運用を行っていない場合は、Kind 以下を省略する。 ※3-1-7 「潮位の警報級の可能性」の詳細を参照。refID は、TimeDefines で定義した timeId に対応する。
└ Text		雨、大雨、土砂災害、雪、風（風雪）、波若しくは潮位の警報級の可能性が [高]、[中] のとき又は condition が“値なし” のとき、警報級の可能

		性及び対象期間の概要を文字列で記述する。記述する内容が無い場合には、タグ自体出現しない。同一発表予報区内では、Type の値にかかわらず同じとなる。
└ Area	対象地域	発表予報区を記述する。
└ Name	対象地域の名称	発表予報区の名称を、“東京地方”“大阪府”などと記述する。
└ Code	対象地域のコード	発表予報区のコード番号を、“130010” “270000”などと記述する。

※ 3 - 1 - 1 「雨の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="雨の警報級の可能性">中 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="雨の警報級の可能性">高 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> </PossibilityRankOfWarningPart> <Text>〇〇では、〇日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性が高い。また、〇〇日までの期間内に、 暴風（暴風雪）、波浪警報を発表する可能性がある。</Text> </pre>	<p>type には“雨の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（※ 3 - 1 - 6）は「高」、「中」又は「なし」の文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、condition に“値なし”と記載する。</p>

※ 3 - 1 - 2 「大雨の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="大雨の警報級の可能性">中 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="大雨の警報級の可能性">高 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> </PossibilityRankOfWarningPart> <Text>〇〇では、〇日までの期間内に、大雨警報を発表する可能性が高い。また、〇〇日までの期間内に、 暴風（暴風雪）、波浪警報を発表する可能性がある。</Text> </pre>	<p>type には“大雨の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（※ 3 - 1 - 6）は「高」、「中」又は「なし」の文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、condition に“値なし”と記載する。</p>

※3-1-3 「土砂災害の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="土砂災害の警報級の可能性">中 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="土砂災害の警報級の可能性">高 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> </PossibilityRankOfWarningPart> <Text>〇〇では、〇日までの期間内に、土砂災害警報を発表する可能性が高い。また、〇〇日までの期間内に、暴風（暴風雪）、波浪警報を発表する可能性がある。</Text> </pre>	<p>type には“土砂災害の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（※3-1-6）は「高」、「中」又は「なし」の文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、condition に“値なし”と記載する。</p>

※3-1-4 「雪の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="雪の警報級の可能性" condition="値なし" /> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="雪の警報級の可能性">高 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> </PossibilityRankOfWarningPart> <Text>〇〇では、〇日までの期間内に、大雪警報を発表する可能性が高い。また、〇〇日までの期間内に、暴風（暴風雪）、波浪警報を発表する可能性がある。</Text> </pre>	<p>type には“雪の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（※3-1-6）は「高」、「中」又は「なし」の文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、condition に“値なし”と記載する。</p>

※3-1-5 「風（風雪）の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="風（風雪）の警報級の可能性" condition="値なし" /> </pre>	<p>type には“風（風雪）の警報級の可能性”と記載する。</p>

<pre> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="風（風雪）の警報級の可能性">高 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> </PossibilityRankOfWarningPart> <Text>〇〇では、〇日までの期間内に、暴風（暴風雪）警報を発表する可能性が高い。また、〇〇日までの期間内に、大雨、波浪警報を発表する可能性がある。</Text> </pre>	<p>警報級の可能性は「高」、「中」又は「なし」の文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、condition に“値なし”と記載する。</p>
--	--

※３－１－６ 「波の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="波の警報級の可能性" condition="値なし" /> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="波の警報級の可能性">高 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> </PossibilityRankOfWarningPart> <Text>〇〇では、〇日までの期間内に、波浪警報を発表する可能性が高い。また、〇〇日までの期間内に、暴風（暴風雪）警報を発表する可能性がある。</Text> </pre>	<p>type には“波の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（※３－１－６）は「高」、「中」又は「なし」の文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、condition に“値なし”と記載する。</p>

※３－１－７ 「潮位の警報級の可能性」の詳細

例	解説
<pre> <PossibilityRankOfWarningPart> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="1" type="潮位の警報級の可能性">高 </jmx_eb:PossibilityRankOfWarning> <jmx_eb:PossibilityRankOfWarning refID="2" type="潮位の警報級の可能性" condition="値なし" /> </PossibilityRankOfWarningPart> <Text>〇〇では、〇日明け方までの期間内に、高潮警報を発表する可能性が高い。</Text> </pre>	<p>type には“潮位の警報級の可能性”と記載する。</p> <p>警報級の可能性（※３－１－６）は「高」、「中」又は「なし」の文字列で記載する。それ以外の場合は空タグとし、condition に</p>

	“値なし”と記載する。

※ 3-1-6 「警報級の可能性」の階級値

階級値	解説
高	警報級の現象が発生する可能性が高いことを示す。
中	警報級の現象が発生する可能性があることを示す。
なし	季節的に現象が発生しないことを示す。

別表 1 「警報級の可能性の予想」の時刻定義
“早期注意情報（明後日まで）”

5時予報	11時予報	17時予報	対象時刻	例
○			今日 06時から12時	<DateTime>yyyy-mm-XXT06:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT6H</Duration>
○	○		今日 12時から18時	<DateTime>yyyy-mm-XXT12:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT6H</Duration>
○	○	○	今日 18時から24時	<DateTime>yyyy-mm-XXT18:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT6H</Duration>
○	○	○	明日 00時から06時	<DateTime>yyyy-mm-YYT00:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT6H</Duration>
○	○	○	明日 06時から12時	<DateTime>yyyy-mm-YYT06:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT6H</Duration>
○	○	○	明日 12時から18時	<DateTime>yyyy-mm-YYT12:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT6H</Duration>
○	○	○	明日 18時から24時	<DateTime>yyyy-mm-YYT18:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT6H</Duration>
○	○	○	明後日 00時から12時	<DateTime>yyyy-mm-ZZT00:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT12H</Duration>
○	○	○	明後日 12時から24時	<DateTime>yyyy-mm-ZZT12:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT12H</Duration>

「警報級の可能性（明日まで）」「警報級の可能性（明後日まで）」の解説-31

※例記載の“yyyy-mm-XX”は今日の、“yyyy-mm-YY”は明日の、“yyyy-mm-ZZ”は明後日の年月日の dateTime 型の意味

“警報級の可能性（明日まで）”

5 時予報	1 1 時予報	1 7 時予報	対象時刻	例
○			今日朝から夕方	<DateTime>yyyy-mm-XXT06:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT12H</Duration>
	○		今日昼過ぎから夕方	<DateTime>yyyy-mm-XXT12:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT6H</Duration>
○	○	○	今日夜のはじめ頃から明日明け方	<DateTime>yyyy-mm-XXT18:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT12H</Duration>
○	○	○	明日朝から夜遅く	<DateTime>yyyy-mm-YYT06:00:00+09:00</DateTime> <Duration>PT18H</Duration>

※例記載の“yyyy-mm-XX”は今日の、“yyyy-mm-YY”は明日の、“yyyy-mm-ZZ”は明後日の年月日の dateTime 型の意味

(参考)

- ・ 警報級の可能性の名称は「早期注意情報（警報級の可能性）」に変更した。ただし、電文の記述に変更はない。
- ・ 大雨又は高潮に関して、[高]又は[中]が予想されている場合、災害への心構えを高める必要があることを示す警戒レベル1である。
- ・ 気象庁ホームページにおいては、以下のとおり解説を行う。

早期注意情報 （警報級の可能性）*	災害への心構えを高める必要があることを示す警戒レベル1 です。 <u>最新の防災気象情報等に留意するなど、災害への心構え を高めてください。</u>	警戒レベル1
----------------------	---	--------

* 大雨又は高潮に関して、[高]又は[中]が予想されている場合。